

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 213-8502

住 所 川崎市高津区末長3丁目3番17号

氏 名 株式会社 ゼネラル

代表取締役 社長 増田 幸司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 10 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 ゼネラル		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 高津区末長3丁目3番17号		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ 他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第 4 条第 1 号該当事業者	産業 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 2 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 3 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 4 号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	空調機、情報通信機器の研究開発及び本社業務		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	4,184 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX 番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	<p>当社の環境活動をホームページにて公開しています。  <a href="https://www.generalww.com/jp/environment/index.html">https://www.generalww.com/jp/environment/index.html</a>  お問い合わせフォーム  <a href="https://www.generalww.com/jp/contact/sustainability-form.html">https://www.generalww.com/jp/contact/sustainability-form.html</a></p>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

事業者全体の基本方針

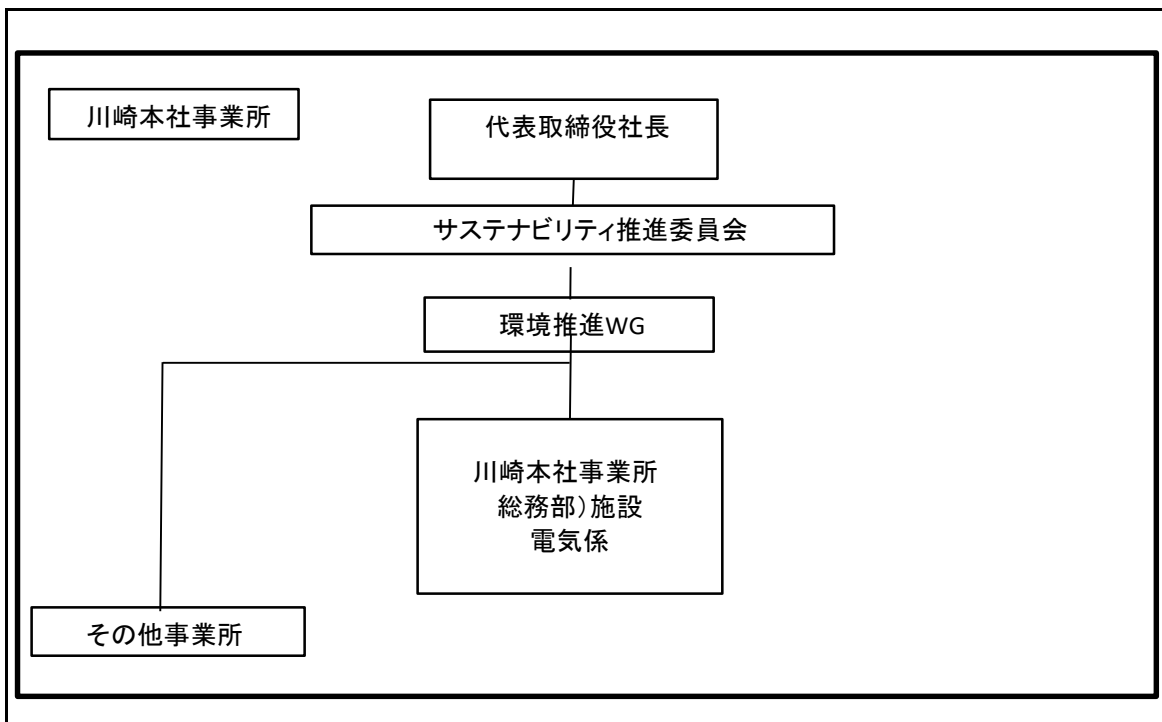
- ①. 地球温室効果ガスの削減に対する取り組みを組織的及び継続的に行う。
- ②. 地球温室効果ガスの削減目標を定め、その目標を達成するための施策を実施する。
- ③. 省エネルギー、省資源及び 3 R を強化したトップランナー製品の創出。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理 (P D C A サイクル) を行うための方針

市内事業所の基本方針

- ①. 計画期間内に目標対策メニューを実施。
- ②. 対策の実施状況、温室効果ガス削減量について精査し改善を行う。
- ③. ISO14001国内拠点統一第三者認証取得済 (2008年)

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 428 (調) 428		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 423 (調) 423		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 5 (調) 5		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 1.2 %		(基) %		(基) %	
	(調) 1.2 %		(調) %		(調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	10,247 8,052	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	423 423	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	95.9 % 94.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休暇廃止による営業日増(設備稼働率アップ)による都市ガス、揮発油使用量増加</li> <li>・新規冷媒対応によるLPG使用量増加</li> <li>・社用車のEV化</li> <li>・ボイラー稼働時間の短縮(都市ガス使用量削減)</li> </ul>
---

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高効率空調装置への更新</li> <li>2. 換気ファンモータのインバータ制御化</li> <li>3. 照明の間引き/点灯時間最適化</li> <li>4. 太陽光パネルの追加</li> <li>5. 中央監視装置のポイント増加</li> <li>6. エアハンドリングユニットの更新</li> </ol>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量	エアコン研究開発部門の使用電力×当該部門の使用面積		原単位等の単位			kl/Gwh・㎡
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
エネルギー消費原単位等の値	0.09369					0.09090
活動量の値	44,650					45,996
エネルギー消費原単位等の削減率		%	%	%		3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位			
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
排出量原単位等の値						
活動量の値						
排出量原単位等の削減率		%	%	%		%

(3) 目標設定に関する説明

川崎事業所は、空調製品の開発、評価に使用する連続試験装置の稼働により、全エネルギーの70%程度を消費している。  
 今後も空調機器の高度な省エネ性の要求による開発体制強化のため新開発棟の建設や、試験設備増強を行うなど研究開発部門の電力量増加が見込まれるため、活動量の値が3%程度増加するが、下記(5)に記述する省エネ化施策によりエネルギー消費原単位3%の低減を目標とする。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	4,184 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	428 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
事業所の数	1			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量《クレジット考慮》 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
株式会社 ゼネラル	川崎市高津区末長3丁目3番17号	428			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	1. 高効率空調装置への更新 2. 換気ファンモータのインバータ制御化 3. 照明の間引き/点灯時間最適化 4. 太陽光パネルの追加 5. 中央監視装置のポイント増加 6. エアハンドリングユニットの更新
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光	281	284,420		2019
風力				
バイオマス (燃料: )				
その他( )				
その他( )				
合計	280.8	284,420	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー消費量	18,034,340 kWh	kWh	kWh	kWh	18,921,815 kWh
再エネ電源等	18,034,340 kWh	kWh	kWh	kWh	18,921,815 kWh
再エネ電源比率	100.0 %	%	%	%	100.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.000				0.000

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	95.2 %	%	%	%	96.0 %

(4) 目標設定に関する説明

太陽光パネルの増設、グリーン電力購入の継続
-----------------------

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	太陽光パネルの増設、電化へのシフト（社用車EV化、ガスボイラーから電気ヒートポンプへの置換）など
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明 有・計画無			
内容	2050年にスコープ 1, 2, 3 でカーボンニュートラルを達成			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050 年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2035 年度	年度	年度	年度
	55 %削減 ( 2021 )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	有			
内容	2050年にカーボンニュートラル			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	賛同済み			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得有(過去3年以内)			
認証年度	2023年度			

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの 計画</p>	<p>川崎市高津区脱炭素行動宣言「2030年までに温室効果ガス排出量（スコープ1，2）を実質ゼロ」の達成を目指す</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	